

2024年1月28日  
岡津小学校地域防災拠点訓練

# 岡津小学校地域防災拠点について

## contents

- 1、自然災害と避難について
- 2、地域防災拠点とは
- 3、防災拠点運営委員会
- 4、地域防災拠点開設から閉鎖までのプロセス

## 最後に

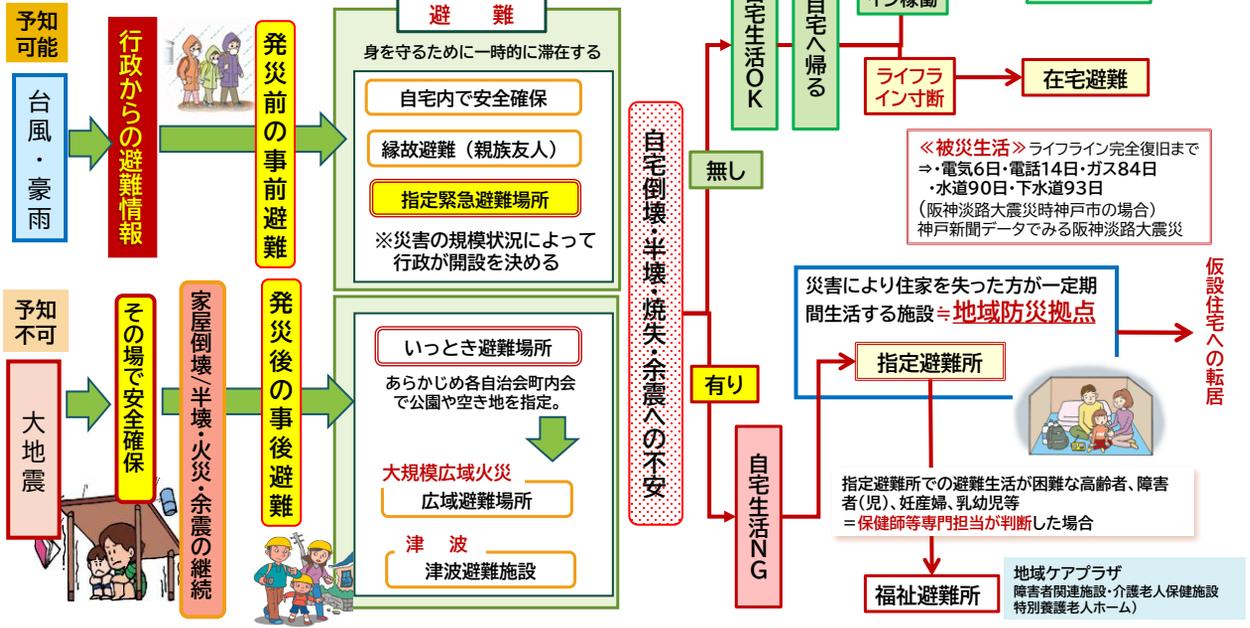
参考資料  
> 横浜市及び泉区HPの防災関連情報  
> 政府広報オンライン情報  
> 神戸新聞他

2024年1月28日  
岡津小学校地域防災拠点訓練

# 1、自然災害と避難行動について

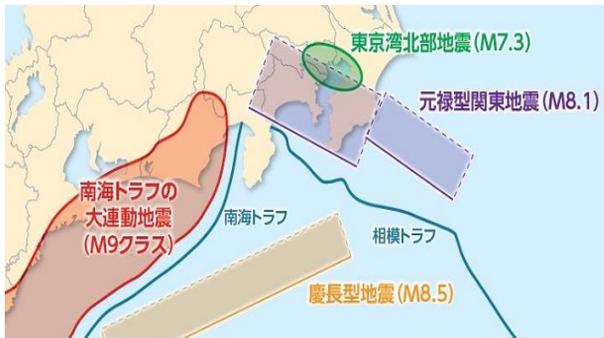
岡津小学校地域防災拠点運営委員会

# 【自然災害と避難について】



# 【泉区に想定される大地震】

2020年泉区防災計画より



震災時の泉区の被害想定

	元禄型関東地震	東京湾北部地震	南海トラフ巨大地震
建物全半壊被害(棟)	6,239	128	211
火災焼失棟数(棟)	3,339	250	0
建物倒壊による死者(人)	45	0	0
火災による死者(人)	55	4	0
負傷者	742	19	22
避難者(人)	22,455	3687	4454
上水道断水世帯	11,839	3284	4488
下水道機能障害世帯	2,268	821	841
停電世帯	9,608	326	0
都市ガス供給停止件数	36,064	0	0

泉区人口(令和2年9月) 152,979

泉区世帯数(同左) 69,862

## ■ 元禄型関東地震

- \* 相模トラフ沿いを震源とする地震(関東大震災大正12年)
- \* 泉区想定震度=震度6弱~6強
- \* 発生確率=低い(今後30年の発生確率5%)
- \* 予想震度は最大。想定地震の中で人的・物的被害も最大

## ■ 東京湾北部地震(首都直下地震)

- \* いわゆる首都直下型地震。
- \* 泉区想定震度=震度5弱~6弱
- \* 発生確率=高い(今後30年の発生確率70%)
- \* 東京湾岸では揺れ・火災による相当な被害が予測される
- \* 首都圏の政治経済の中枢機能に大きなダメージを与える
- \* ライフラインや高速道路・鉄道等に大規模な機能障害

## ■ 南海トラフ巨大地震

- \* M9クラスの最大級の地震。
- \* 泉区想定震度=震度5強~6弱
- \* 発生確率=高い(今後30年の発生確率70%)
- \* 横浜市の揺れは大きくないが、長周期地震動、液状化、津波などの被害が想定。
- \* 静岡県から九州に至る広域での被害が予測され、応急対応に必要な人材・物資等の不足が懸念される。

## ■ 慶長型地震

- \* 揺れの影響は大きくないが、東京湾内への大きな津波の影響は可能性大。南関東から東海地区以西の広い範囲で津波被害が懸念される。泉区には津波被害想定はなく、当面は対象外。

2024年1月28日  
岡津小学校地域防災拠点訓練

## 2、地域防災拠点とは

岡津小学校地域防災拠点運営委員会

### 【地域防災拠点の役割】

☞ 地域における「防災・減災の中心的な役割」を担う施設。

#### ■ 防災拠点としての3つの機能

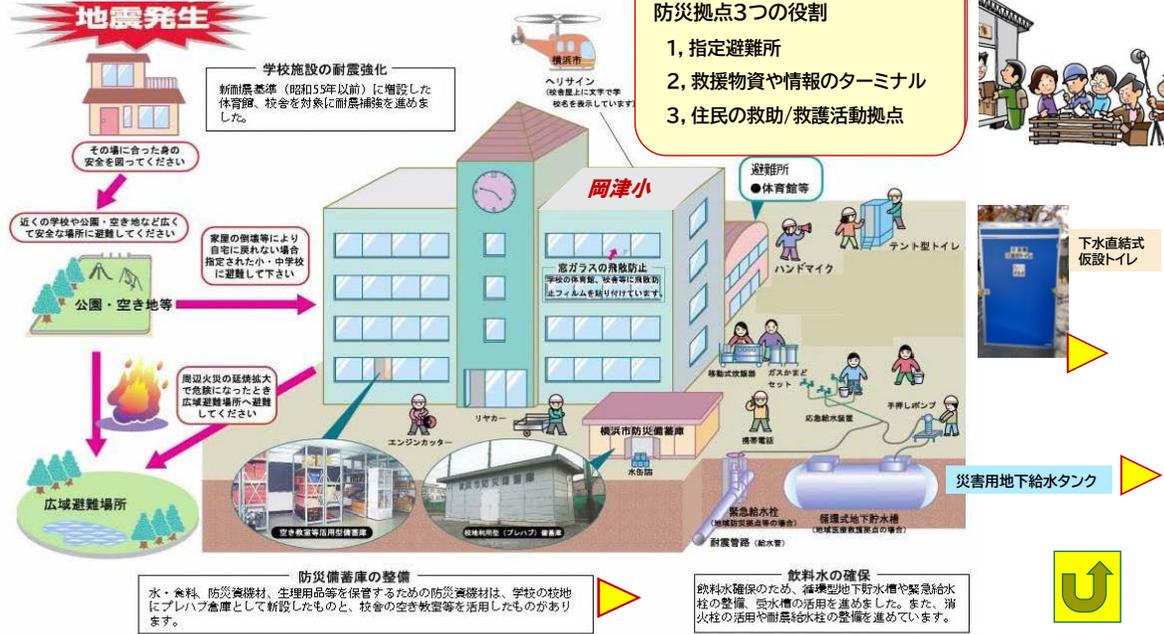
- ① 震災時の指定避難所
- ② 震災時の物資情報のターミナル
- ③ 震災時の救助救護の拠点



### 【地域防災拠点が開設されるのは】

☞ 横浜市内のいずれかで、**震度5強以上の揺れ**が観測された時、市内の全拠点が開設されます。

# 地域防災拠点の全体イメージ



岡津小学校地域防災拠点 主な防災備蓄品および資機材 (2023・11)

品目	数量	品目	数量	品目	数量	品目	数量	
食料・飲料水	水缶(350ml)	2,160 缶	ゴミ袋(90L)	100 枚	防災無線電話	1 基	ガソリン缶(1L)	9 缶
	クラッカー	980 食	ビニール袋(20L)	600 枚	特設公衆電話用電話機	2 基	灯油缶(1L)	9 缶
	ライスクッキー	80 食	ビニール手袋	100 枚	アマチュア無線用アンテナ	1 式	混合ガソリン	2 缶
	缶入り保存パン	1,000 食	手指消毒薬(1L)	4 本	小電カトランシーバー	5 台	カセットガスボンベ	80 本
	おかゆ	480 食	除菌剤(500ml)	4 本	防災ラジオ	2 台	アルカリ乾電池(単四)	452 本
	スープ	315 食	フマキラー	2 本	手回し発電ラジオ	2 台	アルカリ乾電池(単三)	88 本
粉ミルク/哺乳瓶	20 set	生理用品	20 個	ヘルメット	10 個	アルカリ乾電池(単二)	6 本	
炊事関連	給水用水槽(1t)	1 基	非接触型体温計	3 本	ヘッドライト	10 個	ガソリン式発電機	3 台
	非常用ポータンク	25 個	腋下体温計	2 本	エンジンカッター	1 基	ガス式発電機	5 台
	移動式炊飯器セット	1 set	マスク(普通)	10 箱	つるはし	5 本	投光器	4 台
	LPガスコンロ	2 台	マスク(小さめ)	6 箱	てこ棒	5 本	電源コードリール	5 台
	薪燃料がまどセット	1 set	使い捨て手袋	500 組	のこぎり	7 本	多機能LED照明	5 台
	アルミ寸胴鍋	2 個	ゴミ袋	200 枚	大ハンマー	5 本	LEDライト	1 台
ガスマッチ	2 個	泡ハンドソープ	10 本	大バール	10 本	手回し充電ライト	2 台	
トイレ関連	トイレバック	5,000 回分	アルコール消毒液	40 本	LEDランタン	2 本	LEDランタン	80 個
	簡易型トイレ便座	4 基	簡易テント	2 基	ガレージジャッキ	5 基	災害時自転車	1
	組立式仮設トイレ	2 基	避難所内用1人用テント	3 基	ワイヤーカッター	5 本	折り畳み車いす	1
	下水直結式仮設トイレ	5 基	避難所内用2人用テント	3 基	スリッパ	5 本	オフロード台車	1
	バケツ	20 個	簡仕切りパーティション	5 基	大ナタ	5 本	ハンドマイク	2
	トイレトイペーパー	192 巻	毛布	200 枚	掛や	2 本	多言語表示シート	1
	子供用紙おむつ	3 箱	保温用シート	100 枚	リヤカー	2 台	文房具セット	1
	子供用紙パンツ	4 箱	アルミブランケット	240 枚	担架&ポール	10 set	工具セット	1
	大人用紙おむつ	1 箱	赤外線オイルヒーター	1 基	救急箱(15~20人用)	1 個	掲示板	1
	大人用紙パンツ	1 箱	ブルーシート	12 枚	救急箱(5人用)	1 個	三角コーン	20

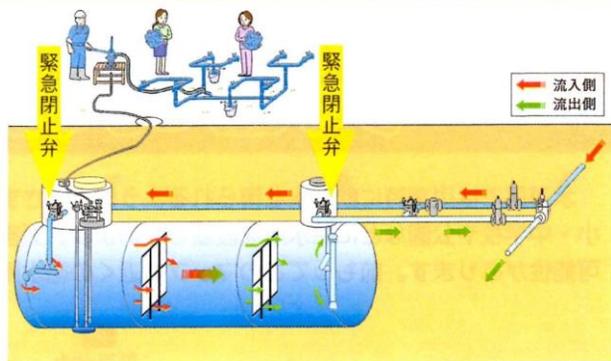
食料・衛生関連・避難所用の資機材等については、避難生活をする人の為の最低限の備品





## 地下タンク (災害用地下給水タンク)

普段は水道管として使われ、新鮮な水道水が流れていますが、災害時に水圧が下がると、自動的に出入り口が閉まり、タンク内に飲み水を確保します。災害時に地域の皆さまが、地下タンクから臨時的な蛇口を自分たちで設置・操作していただきます。災害に備え、地下タンクの場所や設置・操作方法を知っていただくため、給水訓練に参加いただくようお願いします。



災害用地下給水タンク概要図

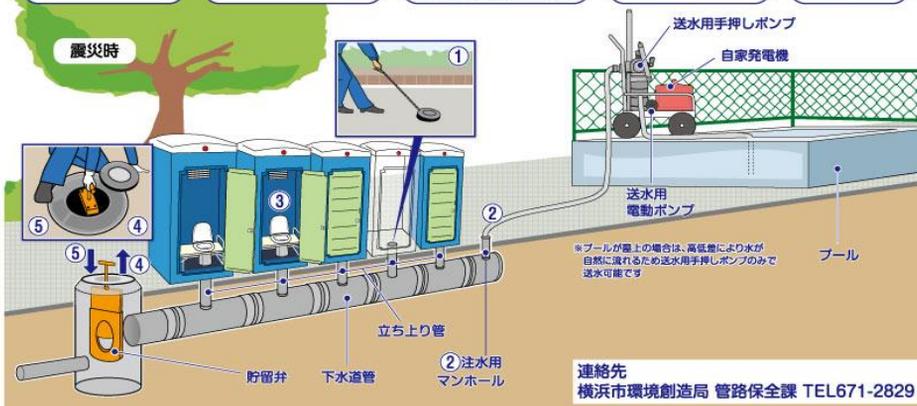


## 災害時下水直結式仮設トイレ案内

ここには、仮設トイレ用下水道管が設置されています

### 使用方法

- ① 立ち上り管の蓋をはずし、仮設トイレを設置する  
※蓋をあげる工具は防災倉庫に保管
- ② 注水用マンホールから下水道管に水を貯める  
※プール水・水道水を活用/約800ℓ  
注水用マンホールから管の半分程度貯まった事を確認
- ③ トイレが使用可能になる  
必ず、下水道管に水を貯めてから使用  
※貯めた水が、トイレからの汚物やペーパーを溶解し、排水しやすくします
- ④ 約500人使用したら貯留弁をあげ、排水する  
※1日1~2回程度/一気に排水
- ⑤ 下水道管が空になったら貯留弁を閉める



連絡先  
横浜市環境創造局 管路保全課 TEL671-2829



## 【地域防災拠点の設置の背景】

- ☞ 1995年の阪神淡路大震災を教訓に、同年4月から、**教訓とは**  
市立の小中学校に整備された。
- ☞ 市内459校、泉区内では23校が指定されている。



## 【岡津小学校地域防災拠点が対象とするエリア】

- ☞ 近隣の10自治会町内会(≡岡津小学校学区)

岡津第1、第2、第3、第4町内会、岡津新町、岡津町西部、あおば、ルネ戸塚弥生台、みやこの杜、グレースシア山手台

- ☞ 対象となる世帯&人口

■ 世帯数4,119世帯、

■ 総人口11,188人

(平成27年国勢調査)

## 阪神淡路大震災直後の神戸市内の小中学校の体育館と校庭

阪神淡路大震災  
約30万人が、地元の小中  
学校や公民館等に避難



2024年1月28日  
岡津小学校地域防災拠点訓練

## 3、地域防災拠点運営委員会について

岡津小学校地域防災拠点運営委員会

### 【地域防災拠点を運営するのは拠点運営委員会】

- ☞ 防災拠点の運営は、地域住民代表、学校関係者、自治体の担当者によって構成された防災拠点運営委員会によって行われる。

### 【地域防災拠点運営委員会の活動の目的】

- ☞ 災害発生時、地域の助け合いによる自主的な避難所運営がなされ、安全かつ秩序ある避難生活が可能となるよう地域住民の相互協力による防災活動の促進を図る。(7/22泉区運営委員研修)

大きな震災が起きた時、早い時点で公的な援助を期待する事は極めて難しい。⇒地域住民が共同で対応せざるを得ない。

## 【地域防災拠点運営委員会の主たる仕事】

平常時	災害発生時
<p><b>【災害に備えた準備活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災拠点の設備、資機材等の維持管理</li> <li>○ 実践的な拠点訓練の実施(行政、防災関連機関と連携した訓練の計画と実行)</li> <li>○ 町の防災組織と連携し、訓練や研修に多くの住民が参加しうる環境の整備</li> <li>○ 発災時における諸課題の抽出と対応策の検討</li> </ul>	<p><b>【防災拠点(避難所)の運営】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域防災拠点の開設</li> <li>○ 避難所の生活基盤の形成</li> <li>○ 地域防災拠点運営の実践</li> <li>○ 拠点の閉鎖/学校再開への活動</li> </ul> <p>* 拠点運営は、運営委員会が中心となって避難民全員が協力して実践する。</p>

## 令和5年度 拠点運営委員会の体制について

### 【平時の運営委員会の役割】

- \* 災害発生に備えた拠点对応力の強化
- 効果的な訓練の実施、人材育成
- \* 防災拠点の運営管理

### 【管理委員会】\* 平常時の拠点活動の企画・調整・推進。

#### \* 具体的活動内容

- ① 活動方針の策定
- ② 活動計画の立案/実行
- ③ 組織・体制の管理
- ④ 資機材・備蓄品管理
- ⑤ 関連部門(行政、地域団体等)との連絡調整

### 発震時の体制

震災時には、参集できた  
運営委員と避難者が協力し  
て、拠点の運営に当たる。

### 平時の体制

#### \* 訓練時の班編成

班名	人数	編成メンバー
庶務班 (委員長1、副委員長2)	14	単会会長、連会会長1、 連会総務1(事務局)防 犯指導員1、交通安全1
学校再開班	14	学校2、PTA2、キッズ 2、青少年4、スポ推4
救出救護班	11	管内自治会町内会より 1名(一単会のみ2名)
食料物資班	11	管内自治会町内会より 1名(一単会のみ2名)
情報班	10	管内自治会町内会より 1名
防災部長班	10	管内自治会町内会防災 担当
活動支援G	7	消防団2・消防1・区役 所2、岡津中1、緑園高 校1
合計	77	

管理委員会	
メンバー	人数
単会会長	10
岡津小	2
消防団	2
消防署	1
区役所	2
中川連合	2
合計	19

班長4(庶務、食料、情報、救出)  
委員長、事務局、他単会会長若干名

訓練実行委員

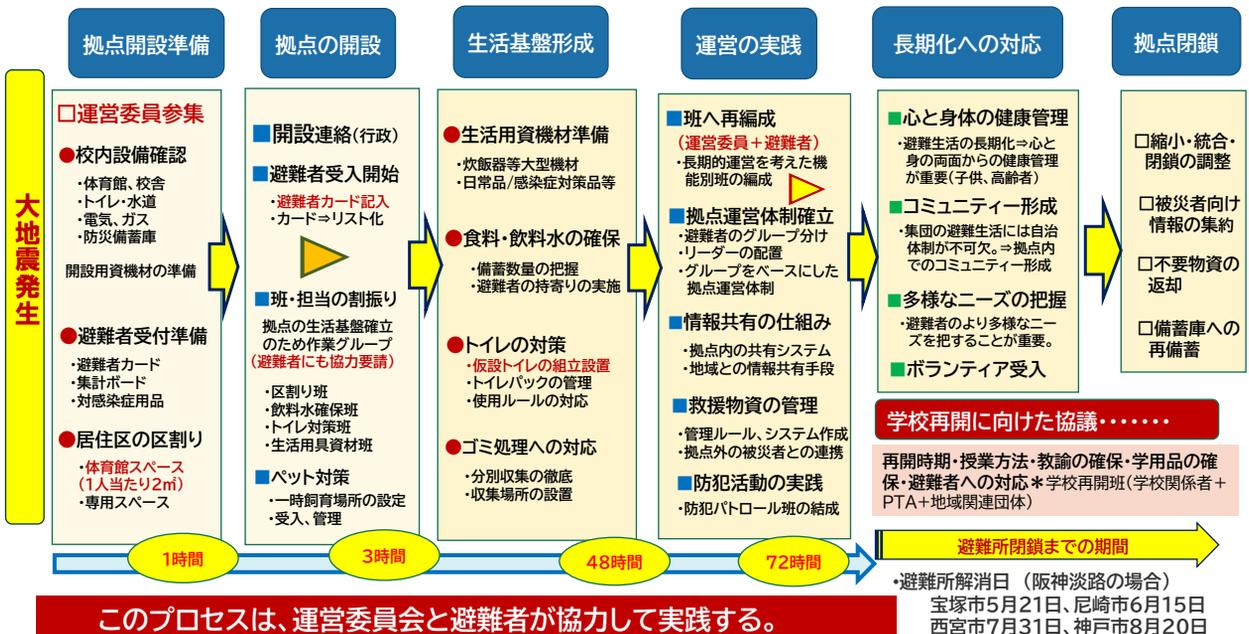
班名	主な業務
庶務班	* 避難所の管理運営統括 * 区本部との連絡、調整 * ボランティア受付
学校再開班	* 学校再開に向けての総合調整 * 保護者+PTAとの連携
救出救護班	* 住民による救出救護活動関連 * 地域の被災状況の把握
食料物資班	* 水(飲料水・生活用水)の確保 * 食料の調達、配布に関する事 * 備蓄品/救援物資の管理配布
情報班	* 避難者カード及びリスト管理 * 各種情報の管理、発信 * 在宅避難者への情報発信
防災部長班	* 各単会防災対策本部の立上げ

2024年1月28日  
岡津小学校地域防災拠点訓練

## 4、地域防災拠点開設から 閉鎖までのプロセス

岡津小学校地域防災拠点運営委員会

### 【地域防災拠点開設から閉鎖までのプロセス】



様式第10号

避難者カード(兼 安否確認票) No. \_\_\_\_\_  
(新型コロナウイルス対応版) 学校地域防災拠点

※みなさまの安否情報の問い合わせについて、ご希望の番号にチェックをつけてください。  
 問い合わせに…  
1 下記の情報を公表しないでください。  
2 下記の情報を公表しても結構です。(インターネットでも検索できます。)  
3 一部の項目だけ回答しても結構です。  
(留意してもいい項目にチェックをつけてください。インターネット検索時、チェックした項目のみ表示されます。)  
住所(区町名まで) 性別 年齢 身体状況 所在場所

情報公開についての希望

避難所内でのロケーション

自宅住所

家族の状況(本人も含め)  
 身体・健康状況・所在(居場所)・連絡先  
 特技、資格、

※1世帯で1枚記入(下記の引かれた項目は、必ず記入してください)。 確認者

避難した日時 年 月 日 : \_\_\_\_\_

退去した日時 年 月 日 : \_\_\_\_\_

避難生活区画 体育館 教室(階 年 組用) \_\_\_\_\_

住 居 \_\_\_\_\_ 区 \_\_\_\_\_ 町 丁目 \_\_\_\_\_ 番 号 \_\_\_\_\_

※アパート・マンション名 \_\_\_\_\_

同居家族全員を記入してください。

フリガナ	性別	年齢	身体状況	所在場所	備考 <small>災害直後以降ですが、インターネット検索時に、身体を要する場合は、<input type="checkbox"/> 備考欄にチェックしてください。</small>	電話番号(携帯) (インターネット検索用)
氏名(NAM)						
災害活動に関する 特技・資格など						
	男・女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害がみられます <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する	体温 体調不良
	男・女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害がみられます <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する	°C 有・無
	男・女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害がみられます <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する	°C 有・無
	男・女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害がみられます <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する	°C 有・無
	男・女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害がみられます <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する	°C 有・無
	男・女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害がみられます <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 表示する	°C 有・無

※電話番号及び携帯番号は検索用のみ利用し公表はしません。  
 ※本情報は、災害時のみの利用とし、災害対策本部の**禁止事項**に該当します。  
 ※新型コロナウイルスに関する体調管理は、裏面を利用して継続的に行ってください。  
 53



## 【震災時拠点開設後の運営と各班の活動】

震災時には、参集できた**運営委員**と**避難者**が協力して、拠点の運営に当たる。  
 運営の基本 **相互扶助・全員参加・性別や一部の世代に偏らない**

### 拠点運営のポイント

- **組織体制**と共同生活を維持する**ルール作り**
- 拠点内、地域、公的機関との**情報共有**
- 拠点内の**安全安心確保/防犯対策の実施**
- **救援物資**の必要数の把握と要請・受入・管理・配布
- **各単会防災対策本部との連携**

班 名	主な業務
庶務班	* 避難所の管理運営統括 * 区本部との連絡、調整 * ボランティア受付
学校再開班	* 学校再開に向けての総合調整 ・保護者+PTAとの連携
救出救護班	* 住民による救出救護活動関連 * 地域の被災状況の把握
食料物資班	* 水(飲料水・生活用水)の確保 * 食料の調達、配布に関する事 * 備蓄品/救援物資の管理配布
情報班	* 避難者カード及びリスト管理 * 各種情報の管理、発信 * 在宅避難者への情報受発信
防災部長班	* 各単会防災対策本部の立上げ



2024年1月28日  
岡津小学校地域防災拠点訓練

## 最後に

岡津小学校地域防災拠点運営委員会

### \*大切な日常の備え

\*自宅での居住が継続できる状態であれば、**在宅避難**をしましょう。  
**避難所の環境は厳しく、またその著しい変化から、体調を崩して、心身両面で致命的なダメージを受ける方も少なくありません。**

したがって……

\*大震災に向かって、事前の**住宅の耐震化や安全な室内環境作り**を進めると共に、**食料や飲料水、日常必需品などの備蓄**を心掛け、可能な限り在宅避難ができる準備をしておくべきと考えます。

## 【家屋と家財が凶器なることを防ぐ】

### ☞ 家屋の耐震化

- \* 昭和56年5月末日の建築基準法改正以前に建築された建物は安全性が低いと云われています。そのため横浜市では、上記期日以前に建築確認を得て着工された2階建以下の在来軸組構法の木造住宅に対する耐震改修促進事業（補助金制度）を行っています。

過去の大震災における犠牲者の死因

震 災	死者数	死 因	
東日本大震災(2011)	18,425	溺死92.4%	圧死4.4%
阪神淡路大震災(1995)	6,434	圧死83.3%	焼死12.8%
関東大震災(1923)	105,000	焼死87.1%	圧死10.5%

### ☞ 家屋の中の安全性の向上

- \* 地震負傷者の30～50%は家具類の転倒、落下等が原因。

- ☞ 室内の家具類の転倒防止・転倒した場合の安全確保対策が重要
- ① 部屋（特に寝室など）に家具を置かない。
  - ② 置く場合は、まず安全な配置にする。
  - ③ そして、家具を固定する。※固定はネジ止が基本。キャスター付き家具はロック。
  - ④ 窓ガラスに飛散防止フィルムを張る

## 【備蓄品の準備】（多くは、自宅に留まり生活をする）

### ☞ ライフラインは壊滅、物資供給は停滞する

阪神淡路大震災時の神戸市のライフラインの完全復旧期間

電気6日・電話14日  
ガス84日・水道90日・下水道93日

### □ 自宅で揃える最低限の備品アイテム

（食 品）	（生活用品）	
・水（飲料水、調理用など）	・生活用水 ・使い捨てカイロ	・ライター ・乾電池
・主食（レトルト御飯、カップ麺など）	・カセットコンロ（+ガスボンベ）	・携帯の予備バッテリー
・主菜（缶詰、レトルト食品など）	・懐中電灯 ・ラジオ（充電式）	・蓄電池（ポータブル電源）
・非加熱食品（蒲鉾、チーズなど）	・救急箱 ・ラテックス手袋	・おむつ（乳幼児がいるご家庭）
・野菜ジュース ・菓子類	・簡易トイレ ・テッシュペーパー	・常備薬 ・持病の薬（高齢者など）
・養補助食品 ・調味料	・トイレトペーパー ・ポリ袋	・生活用品 ・ウエットテッシュ

\* 量の目安：3日から1週間程度の量

### \* 日常備蓄（ローリングストック）

乾パンなど普段使わないものを特別に用意するのではなく、日頃利用してる食料品や生活必需品を多めに購入し、日常で消費しながら一定数がストックされたじ状態にしておく。

### 首都直下地震と被害の様相

東京都防災会議 令和4年5月

\* 電力⇒広範囲で停電が発生。その後、徐々に停電は減少するが、供給量不足から計画停電が続く（1ヶ月程度）

\* 上水道⇒断水が発生。復旧は限定的。1週間後辺りから、段階的解消されるが、浄水施設の被害状況によっては、断水が長期化

\* 下水道⇒下水利用が制限される。特に、集合住宅の場合、水道供給再開後も、トイレの利用が不可のケースあり。

\* ガス⇒一般家庭のガスは、安全装置が働き、広域的に供給停止。安全点検や管路の復旧が終わり、供給が再開されるのは1ヶ月後。

\* 通信⇒発震直後から、音声通信の利用障害メール等の遅配。その後、基地局の電源枯渇による機能停止。1週間程度回復するが、通信設備の被害状況によっては、長期にわたる不通の状況が続く。



神戸市消防局が神戸市民850人に行ったアンケートによると、阪神・淡路大震災で地震直後、閉じ込められた人の救出・救助に当たったのは「近くの人」答えた人が60.5%と圧倒的に多く、次いで家族18.9%、救助隊12.4%という結果になりました。約80%の人が、近くの人や家族に助けられていた。

防災システム研究所 所長 防災・危機管理アドバイザー 山村武彦氏



1995年1月震災直後の神戸市内の家屋倒壊現場(神戸新聞)



私たちの住む横浜の町では、関東大震災以降、100年あたり大きな地震に遭遇していません。これ自体は、とても幸運な事であったと思います。しかし、このことは別の見方をすれば、今後、大きな震災に襲われる可能性が高くなってきている事を意味しています。

この先、大きな震災に遭遇した時、私たちは、これまで経験したことのない大きな混乱の中で、教科書通りでは解決できない、多種多様の課題に直面することになると思われます。

そして、そうした思いをもって、あらためて地域防災の在り方を見直してみると、未曾有の大災害に対して、共助の基本となる「地域住民のコミュニケーションの醸成」が如何に重要であるか、そのことを強く意識するところです。

令和6年1月28日 岡津小学校 地域防災拠点 運営委員会



2024年1月28日  
岡津小学校地域防災拠点訓練

以上

岡津小学校地域防災拠点運営委員会